

タイトル	自動運転EVバスの実証実験について（国土交通省補助事業の採択・事業概要(案)の決定） 補助事業採択：令和6年6月6日 / 補助金交付決定：令和6年6月25日				
実施場所	①富士スバルラインルート ②富士みち循環ルート 宮川橋北詰交差点～上宿交差点～新屋交差点～富士見町二丁目交差点～宮川橋北詰交差点				
内 容	国土交通省管掌の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金(自動運転社会実装推進事業)」について、本市での「自動運転EVバスの実証実験」が、令和6年6月6日(木)付けで採択、6月25日(火)に補助金交付が決定いたしました。 <実証実験実施の背景> 富士吉田市では、第6次富士吉田市総合計画において、御師文化の上吉田地区と昭和レトロな町並みの下吉田地区を一体的に捉えた「都市シンボル軸」として定め、唯一残る麓からの登山道の保存・活用として、「富士みち」を中心にしたまちづくりを掲げております。 こうした中、「富士みち」などを行き来する新たな公共交通の提供による、交通インフラの維持向上と持続可能なまちとしての活力向上、富士山のオーバーツーリズム対策と脱炭素化を目的として、昨年度より「自動運転EVバスの実証実験」を実施しているものです。 今年度は、補助金を活用して新型自動運転車両を購入する中で、2ルートでの自動運転EVバス走行の実証実験を行い、2025年度以降の自動運転レベル4での社会実装を目指してまいります。 <実証実験計画概要（予定）> ティアフォーミニバス ◆運行車両：TIER IV Minibus〔自動運転レベル2〕 ◆運行速度：35 km/h 未満 ◆乗車定員：16名〔オペレーター1名を含む〕 ◆運行期間 ①富士スバルラインルート 準備運行期間：令和6年9月11日(水)～11月9日(土)の計60日間 関係者試乗運行期間：令和6年11月10日(日)～11月19日(火)の計10日間 ②富士みち循環ルート 準備運行期間：令和7年1月9日(木)～1月29日(水)の計21日間 一般運行期間：令和7年1月30日(木)～2月28日(金)の計30日間 <実施体制> ◆富士吉田市レベル4モビリティ・地域コミッティ 富士吉田市〔事業全体の企画、進捗管理、成果測定、参加団体相互の調整等〕 富士急行株式会社〔実証計画策定支援、各種検証・効果測定支援、車両に関する諸設備の提供等〕 富士急バス株式会社〔車両運行に関わるオペレーション等〕 ボールドリ BOLDLY株式会社〔車両の供給・技術支援等〕 富士河口湖町・鳴沢村〔富士スバルラインルート実証実験に関する連携〕 関東運輸局〔レベル4認可等に関する連携〕 関東地方整備局〔路車協調システム設置等に関する連携〕 関東経済産業局〔自動運転等 MaaS 社会実装等に関する連携〕 関東総合通信局〔路車間等の通信インフラに関する連携〕 山梨県警察本部〔特定自動運行に関する連携〕 ◆協力団体 国立大学法人山梨大学工学部/生命環境学部地域社会システム学科、慶應義塾大学 SFC 研究所 東京大学都市デザイン研究室、武蔵野大学都市学研究体、富士吉田商工会議所 (一社)富士五湖観光連盟、(一財)ふじよしだ観光振興サービス、(株)ふじよしだまちづくり公社				
問合せ先	企画部企画課（企画担当）	担当者名	和光・常盤	連絡先	22-1111（内線228）
備 考	運行計画（バス停・ダイヤなど）や乗車予約方法など、実証実験の詳細が確定しましたら、再度連絡をします。				



《車両イメージ（画像は旧型）》